

藤田 英理 氏（生体ナノ反応流研究分野 D3）が、2014 年電気流体力学国際シンポジウム（International Symposium on Electrohydrodynamics 2014 (ISEHD 2014)）におけるポスター発表により、「Best Poster Paper Award」を受賞（2014 年 6 月 25 日）

大学院工学研究科博士後期課程 3 年（流体科学研究所 生体ナノ反応流研究分野）藤田 英理 氏が、2014 年 6 月 23 日～25 日に沖縄にて開催された 2014 年電気流体力学国際シンポジウム（International Symposium on Electrohydrodynamics 2014 (ISEHD2014)）において、「Best Poster Paper Award」を受賞しました。同賞は、2014 年電気流体力学国際シンポジウムにおいて講演発表、ポスター発表および研究内容について審査され、特に優秀な講演を行った学生に対して授与されるものです。

研究内容は、水中放電の前駆破壊現象「ストリーマ」の進展を高時空間分解で可視化・解析し、進展機構を解明することであり、プラズマ医療や環境浄化などで必要な水中プラズマの基礎科学への貢献が認められました。本研究は、科学研究費補助金、流体科学研究所公募共同研究ならびに国際高等研究教育機構国際高等研究教育院の支援を受けて取り組んできました。

**Title: Role of continuous discharge current for secondary streamer in water**

Authors: Hidemasa Fujita<sup>1</sup>, Seiji Kanazawa<sup>2</sup>, Kiyonobu Ohtani<sup>1</sup>, Atsuki Komiya<sup>1</sup>, Toshiro Kaneko<sup>3</sup>, and Takehiko Sato<sup>1</sup>

<sup>1</sup> Institute of Fluid Science, Tohoku University, 2-1-1 Katahira, Aoba-ku, Sendai 980-8577, Japan

<sup>2</sup> Department of Electrical and Electronic Engineering, Oita University, 700 Dannoharu, Oita 870-1192, Japan

<sup>3</sup> Department of Electronic Engineering, Tohoku University, 6-6-05 Aoba, Aramaki, Aoba-ku, Sendai 980-8579, Japan



問い合わせ先：

東北大学 流体科学研究所 生体ナノ反応流研究分野

佐藤 岳彦 教授

Tel: 022-217-5320

E-mail: sato\*ifs.tohoku.ac.jp (\*→@)